

2020年7月8日

世田谷区長
保坂 展人 様

新型コロナウイルス感染症対策に対する緊急申し入れ

日本共産党世田谷地区委員会
日本共産党世田谷区議団

感染拡大から区民の命と暮らしを守るため、世田谷区においては、区長を先頭に職員の方々が全力で職務を遂行されておりますことに、心から敬意を表します。

東京都では7月2日より、1日の感染者数が100名を超える状況が続き、区内の感染者数も、7月に入ってから増加しています。区立小学校の児童の感染も判明するなか、経済活動を優先し、積極的対策を講じない国の対応に、国民の不安は高まっています。

我が党は、感染抑止と経済・社会活動を一体に進めるため、先ず検査のあり方を根本から見直し、感染者の早期発見・調査・入院等による積極的感染拡大防止戦略の転換を提言しています。

この事態を本格的な第2波に繋げないため、検査体制等の抜本的強化と、また先の自粛で大打撃を受けている区内事業所・区民生活を守るため、区の緊急対応を求め、以下申し入れます。

記

1、 国や都への働きかけについて

区長として、国や都へ、これ以上の感染拡大を防ぐために、国民や事業者に「自衛」を求めるだけでなく、新たな自粛要請等必要な対応を求めて頂きたい。

更に、PCR 検査・抗原・抗体検査の拡充と医療崩壊を防ぎ、国民の福祉基盤を支える医療・介護・福祉施設への抜本的財政支援を重ねて働きかけることを求める。

保健所・地方衛生研究所の体制強化及び特に地域の精神科医療の拠点であり、コロナ陽性者を積極的に受け入れている都立松沢病院については直営での維持を求めて頂きたい。

2、 検査体制の強化等について

①今般示された、区の検査体制強化策を評価する。これを更に進め、強い症状がある人や濃厚接触者にとどまらず、無症状者も含めて検査対象者を適切かつ大規模に拡大し、実態把握と感染拡大を防止するための、積極的検査への転換を求める。

引き続き区内医療機関・医師会等と連携し、今後1日当たり1000件程度のPCR検査・抗原検査の拡充を求める。

②介護・保育施設及び学校等で感染者が判明した際、国立感染症研究所の「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」による濃厚接触者特定にとどまらず、現場の保健所の判断を尊重した、施設の全数調査実施等区独自の行政検体範囲拡充を求める。

③このような区独自対応に、科学的知見のもと、広く区民のコンセンサスを得るためにも、医学・医療・法曹・経済等の各分野の代表や区民も交えた「世田谷版専門家会議」設置を求める。

④検査と共に、「予防」対策が重要である。大学の医師や保健師等外部の専門家を活用し、福祉施設・学校等へ、正しい知識や感染予防策を指導する出張予防講座、また広く区民への啓発・広報策を求める。

⑤特に学校・保育現場での、感染者発生に伴う風評被害やいじめなどの人権侵害を予防するため、成育医療センター等と連携し、コロナウイルスの正しい知識や人権尊重の教育に注力すること。

3、 福祉事業所の支援について

区民の福祉を不断に支える、介護・障害・保育の福祉事業所がサービス・運営を維持できるよう、区の責務として支援強化を求める。

①厚労省は介護通所施設等が自粛に伴い減収となったことで、一時的に介護報酬を引き上げた。(6月1日付で、各都道府県等の介護保険担当主管部局あての事務連絡「新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取り扱いについて(第12報)」)

これに対し、区内事業所・ケアマネージャーまた利用者から、「利用者負担に転嫁するな」と批判の声が寄せられている。区長として、こうした現場・利用者の声を国に届け、国の責任での対応を要望して頂きたい。

②区として、現場の声を良く聞き、事業サービスが継続的に維持出来るよう、独自支援を行うこと。

以上